

平成 27 年度 第 2 回 理事会議事録

日時：平成 27 年 6 月 23 日（火）19：00～20：00

場 所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、磯野、藤田、青柳、古屋、井村、
有泉

(委員長) 山田、小林司

(部長) 鈴木、加納

(副部長) 松下

(部員) 新井

欠席：(理事) 高村、北山、笠井

(部長) 中込

書記：伊東・木村

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 0 件 施設数 122 会員数 802 名

I. 審議事項（なし）

II. 報告事項

1. 関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会：
第 34 回関ブロ学会の準備進捗状況について

(山田委員長)

演題登録が終了し演題数は目標に達した。現在仕上げ作業中で査読依頼予定。広報局では東京都と長野県の学会で広報を行い、7 月には茨城県学会へ参加する予定。運営局ではテクニカルセミナーの受付準備、宿泊手配、シャトルバス、ベッドの搬入、弁当の手配、実行委員の募集案内の準備を進めている。渉外局では、機器展示ブースを募集しているが、現在 8 箇所中 4 箇所しか埋っていない。寄付金も募集中で会期の前日まで受付している。実行委員の募集案内に際して報酬の件をどうするかについての審議があり、前回山梨で開催された全国学術研修大会にならって進めていくこととなった。

2. 訪問理学療法委員会：第 6 回訪問リハ・リーダー会議の参加報告

(小林司委員長)

訪問リハ・リーダー会議へ甲府共立診療所の柴田さんと参加した。今後厚労省への報告のため事例集を作成していくこととなった。訪問リハ協議会にて山梨県版フォーマットを作成し他県士会と連携をとりながら進めていく。

3. 委託事業部：介護職場人材育成研修の講師派遣依頼について

(古屋社会局長)

山梨県立介護実習普及センターより依頼を受け水上卓先生、市川普隆先生を推薦した。

4. 委託事業部：山梨県地域リハビリテーション従事

者研修会実行委員の推薦について

(古屋社会局長)

河西利昌先生を推薦した。

5. スポーツ理学療法部：スポーツ理学療法部からの報告

(古屋社会局長)

3 大会から協力依頼があった。

6. 学術研修部：第 1 回学術研修会について

(代理：藤田事務管理局长)

6 月 28 日(日)に開催予定。今年度は学術内容と臨床が繋がるような研修会の企画をしていく。定員にまだ余裕があるので参加の促しをお願いしたい。

7. 学術集会部：第 19 回山梨県理学療法士会学術集会について

(代理：藤田事務管理局长)

日時は平成 28 年 1 月 17 日(日)。場所は桃源文化会館。特別講演のテーマ、講師が決定した。演題は後述とポスターの 2 通りにした。参加の促しをお願いしたい。

8. 広報部：介護予防推進キャンペーンについて

(青柳広報局長)

都道府県士会が統一開催する「介護予防推進キャンペーン」を 7 月 17 日に実施する。今年度もイトーヨーカ堂甲府昭和店にて 10：00～12：00 に実施する。広報部員の他に相談員として地域事業等推進委員長の小林委員長、磯野・笠井副委員長も参加予定。

9. 事務管理局：沿革の更新について

(藤田事務管理局长)

新しいホームページに沿革を掲載した。追加すべき事項について意見があれば 6 月中に藤田まで連絡いただきたい。2012 年の一般社団法人格の取得日が違うなどの意見が出された。

10. 事務管理局：後援依頼について

(藤田事務管理局长)

第 7 回山梨県作業療法学術大会、第 6 回山梨呼吸療法セミナー、第 20 回山梨県失語症者のつどいの 3 件の後援を承諾した。

11. 事業管理部：新ホームページの開設とパスワードの変更について

(藤田事務管理局长)

6 月 1 日より新ホームページを開設した。各局のホームページログインパスワードを変更したが、学術局と企画局のパスワードが「非常に弱い」との判定が出ているので近日中に変更を願いたい。

12. 事業管理部：事務外部委託に対するアンケートについて

(藤田事務管理局长)

事務外部委託に対するアンケートをメールにて各局・委員会に添付したので、6 月 30 日までに返信を願いたい。

13. 事業管理部：研修会のホームページ掲載基準について

(藤田事務管理局长)

現在、研修会のホームページ掲載依頼が非常に多くきている。士会ホームページ運用規定に則り、会長と事務局長で掲載するかの判断をしているが、他の県士会の掲載基準を情報収集しながら継続して判断していく。

II. その他

1. 会長挨拶

今月初めに協会の 50 周年記念祝賀会へ参加した。磯野副会長、高村副会長とともに代議員総会へ参加し、小川先生が来年夏の参議院選へ出馬するとの報告があった。政党は未定。士会の対応については山梨県理学療法士連盟主体の決起集会等の協力をしていく予定。目標獲得票は 16 万票(士会 9 万人+ α)とのこと。委員会に関しては地域包括対策本部に所属することとなり、谷村監事は組織財政委員会の委員長を務めることとなった。平成 30 年度より学術大会が変わる。現在の日本理学療法士学会が分科学会学術集会に名称を変え、より専門領域の演題を中心とした学術集会になる。開催時期は下半期を予定。全国研修会は日本理学療法学術研修大会に名称を変え、一般演題等を行わず、各分野の講演形式になる。開催時期は 5・6 月頃の予定。人材育成については、管理や個々のスキルアップ等を含め、段階を追ってランクアップしていき、最終的には認定プロフェッショナルを取得するような認定制度を設ける。代議員総会の内容については協会 HP に掲載されるので確認願いたい。

2. 調査研究部：会費の割引制度に関するアンケートについて

(井村企画局长)

約 650 件の回収ができた。現在集計中で結果は次回の理事会で報告できる。